

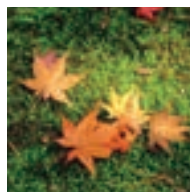
shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

FUJITSU

## 第101期 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで



富士通フロンテック株式会社

証券コード 6945

平素より当社グループに対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第101期中間報告書（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期における経済環境は、国内につきましては緩やかな回復基調で推移しているものの、海外につきましては、中国、欧州などにおいて、より一層先行きの不透明感を強めながら推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、フロントテクノロジー製品の開発、製造、販売、サービスにおいて、プロダクトからソリューション・サービスを含めたトータルビジネスを推進することで、「B to B to Front（お客様の最前線：フロント）」という領域を担う企業としての存在感と価値を提供すべく、一丸となって事業を展開してまいりました。

当中間期の業績につきましては、国内外において金融ビジネスが好調に推移したことにより、連結売上高は55,696百万円（前年同期比14.1%増、6,873百万円の増）を計上いたしました。

損益につきましては、金融ビジネスにおける増収効果に加え、全社横断的に取り組んでいるコストダウンの効果を主因に、連結営業利益は2,019百万円（同372.9%増、1,592百万円の増）、連結経常利益は1,864百万円（同223.5%増、1,288百万円の増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,285百万円（同274.6%増、942百万円の増）を計上いたしました。

なお、中間配当金につきましては、中間期であること等を勘案し、1株につき9円とさせていただきます。

当社グループは、「事業の戦略的推進」、「事業効率化の徹底継続」を重点施策として、より一層の業績向上、企業価値の向上に努めております。株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ倍旧のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月

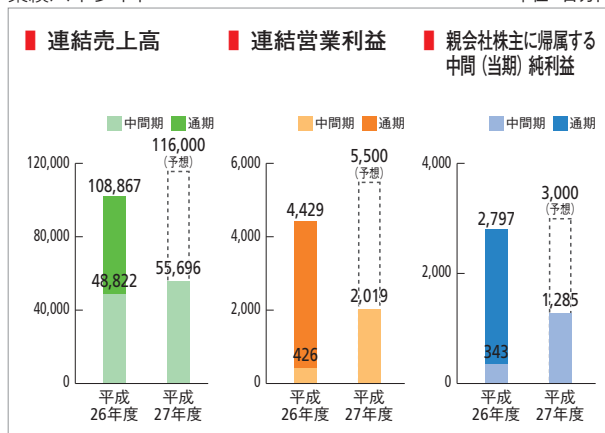


代表取締役社長

下野 文明

業績ハイライト

単位：百万円



## 製造体制強化・サプライチェーンの最適化について

当社グループは、拡大するグローバルビジネスに対応するため、フィリピンの製造子会社FDTP\*の工場を増床し、生産能力を50%以上増強しました。

また、国内外でサプライチェーンの最適化や、生産リードタイムの短縮を図るとともに、生産ラインでタブレットによる製造情報の共有を行い、プロセス改善を実施しています。今後も国内外の需給バランスの変動や多様化するニーズに即座に対応するものづくりを進めてまいります。

\* FUJITSU DIE-TECH CORPORATION OF THE PHILIPPINES



写真上：増床したFDTPの工場

写真下：タブレットを使った新潟工場の生産ライン



## 小売店舗の現金管理をATM型入出金機1台で効率化

従来、小売店舗では、売上金や釣り銭などの現金管理を各店舗が手作業で行い、多大な労力を必要としていました。

現金管理運用サービス「TeamCloud/CM」では、当社製ATM型入出金機とクラウドサービスを利用することで現金管理を自動化し、大幅な労力の削減が可能となります。

さらに、売上金をこの入出金機に入金することで、即日銀行資金化が可能です。

このサービスは、月額費用で利用でき、導入時の初期投資の圧縮も図れます。

当社はこれまで、このサービスを小規模店舗に限って提供していましたが、今後は中・大規模店舗にも展開してまいります。



## 金融ビジネス

金融ビジネスの連結売上高は、国内市場での大規模な更改需要に確実に対応したことにより、ATMおよび営業店端末が伸長し、さらに海外でメカコンポーネントが好調に推移したことから、30,300百万円（前年同期比42.5%増）となりました。

ATM関連では、主力機種 **FACT-V X200** に加え、関連ソフトウェアやソリューションが売上を伸ばしました。メカコンポーネント関連では、中国市場や欧米市場向けに、紙幣還流ユニット **G750** や **G610** が好調に推移しました。セキュリティ関連では、株式会社ジェーシービー様および富士通株式会社と共同で、手のひら静脈認証技術を活用したカードレス決済システムの実証実験を行うなど、新規ビジネスの開拓にも積極的に取り組みました。

## ■ 主要な事業内容

ATM、メカコンポーネント、ATMソリューション、金融ソリューション、ミドルウェア営業店システム、手のひら静脈認証装置



FACT-V X200



G750



UBT-SP FC300



PalmSecure

金融  
ビジネス30,300  
百万円  
54.4%連結  
55,流通  
ビジネス7,266  
百万円  
13.0%

## 流通ビジネス

流通ビジネスの連結売上高は、北米POSビジネスの最適化を図るため実施した商流見直しによる減収の影響などから、7,266百万円（前年同期比16.3%減）となりました。なお、この商流見直しの影響を除くと、当セグメントは堅調に推移しました。

POSシステム関連では、**TeamPoS7000** が、国内外の大口のお客様に継続してご採用いただき、実績に寄与しました。モバイル端末関連では、汎用型の **MultiPad V2** およびプリンター体型の **Patio300E** が、ともに電力会社様向けに伸長しました。RFID関連では、主力のリネンタグやアパレルタグなど高付加価値商品を軸に、国内外で実績をあげています。

## ■ 主要な事業内容

POS、セルフチェックアウトシステム（SCO）ハンディターミナル、RFID



TeamPoS7000Mシリーズ



TeamPoS/SRモデル20

RFID  
(UHF帯)小型ラベルタグ

MultiPad V2

## 産業・公共ビジネス

- 主要な事業内容  
公営競技関連機器、表示装置  
産業・公共・基盤ソリューション



トータルゼータ端末



表示装置（エコボード）

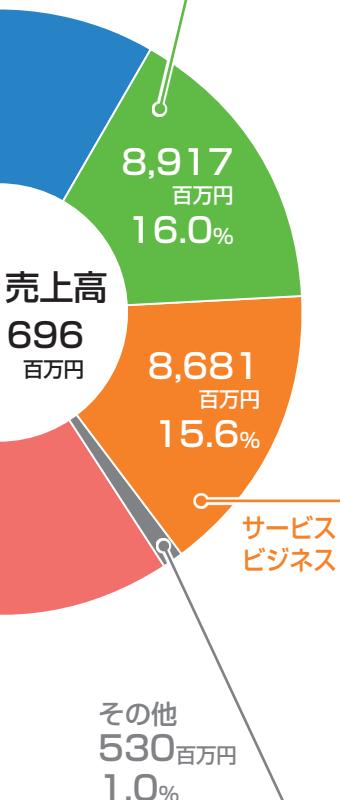


中古車せりシステム

産業・公共ビジネスの連結売上高は、トータルゼータ端末の更新需要が端境期を迎えており、8,917百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

公営競技分野では、トータルゼータ端末の売上が減少した一方、保守や運用サービスが堅調に推移しました。表示分野では、京王閣競輪場様に大型映像表示装置をご採用いただきました。このほか、新規ビジネスとして、RFIDシステムの基本機能をパッケージ化し、データ管理システムをクラウドにより提供する**RFIDプラットフォーム**の販売を開始しました。

産業・公共  
ビジネス



## サービスビジネス

- 主要な事業内容  
金融アウトソーシングサービス  
店舗向けATMサービス  
ヘルプデスクサービス、流通保守サービス



店舗向けATMサービス



ヘルプデスクサービス



ATMトータルアウトソーシングサービス

サービスビジネスの連結売上高は、LCMサービスなどが堅調に推移しましたが、一部スポットサービスの減少により、8,681百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

金融サービスでは、コンビニエンスストアなどATMの設置を希望するお客様向けに、銀行に代わり無人出張所の開設や運用を支援する店舗向けATMサービスが実績に寄与しました。流通サービスでは、クラウドを活用し、お客様店舗での現金管理を効率化できる現金管理運用サービス **TeamCloud/CM**を積極的に拡販しました。LCMサービス関連では、流通製品のシステム導入時の設定などを代行する導入系サービスが堅調に推移しました。

## その他

「その他」には、金型・切削加工事業や福利厚生事業などが含まれており、連結売上高は530百万円（前年同期比4.6%増）となりました。金型・切削加工関連では、自動車業界向けの精密金型や、半導体製造装置関連および航空機関連の切削加工などが、実績をあげています。

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成27年9月30日現在)	前 期 (平成27年3月31日現在)
( 資 産 の 部 )		
流 動 資 産	52,333	53,715
現金及び預金	4,109	5,195
預 け 金	5,413	2,945
売 掛 債 権	21,734	27,932
た な 卸 資 産	18,078	14,869
そ の 他	2,996	2,772
固 定 資 産	18,758	18,956
有形固定資産	12,576	12,528
無形固定資産	3,181	3,415
投資その他の資産	3,000	3,012
資 産 合 計	71,091	72,671
( 負 債 の 部 )		
流 動 負 債	26,079	28,795
買 掛 債 務	18,079	19,043
短 期 借 入 金	—	1,443
そ の 他	7,999	8,308
固 定 負 債	5,624	5,590
負 債 合 計	31,703	34,385
( 純 資 産 の 部 )		
株 主 資 本	39,759	38,677
資 本 金	8,457	8,457
資 本 剰 余 金	8,222	8,222
利 益 剰 余 金	23,138	22,080
自 己 株 式	△ 59	△ 82
その他の包括利益累計額	△ 615	△ 612
その他有価証券評価差額金	196	78
繰延ヘッジ損益	△ 169	△ 58
為替換算調整勘定	336	387
退職給付に係る調整累計額	△ 978	△ 1,019
新 株 予 約 権	74	57
非 支 配 株 主 持 分	168	162
純 資 産 合 計	39,387	38,285
負 債 純 資 産 合 計	71,091	72,671

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	前中間期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売 上 高	55,696	48,822
売 上 原 価	44,978	40,408
売 上 総 利 益	10,718	8,414
販売費及び一般管理費	8,699	7,987
営 業 利 益	2,019	426
営 業 外 収 益	54	323
営 業 外 費 用	208	173
経 常 利 益	1,864	576
税金等調整前中間純利益	1,864	576
法 人 税 等	569	229
中 間 純 利 益	1,295	347
非支配株主に帰属する中間純利益	9	3
親会社株主に帰属する中間純利益	1,285	343

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

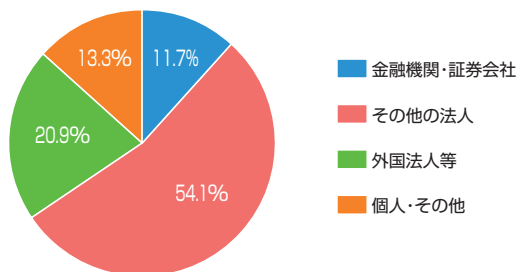
科 目	当中間期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	前中間期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,903	3,971
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,294	△ 1,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,244	△ 739
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 10	153
現金及び現金同等物の増減額	1,352	1,744
現金及び現金同等物の期首残高	8,140	6,221
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,493	7,965

- 発行可能株式総数 43,600,000株
- 発行済株式の総数 24,015,162株
- 株主数 3,383名
- 大株主（上位10名）

株主名	持株数	出資比率
	千株	%
富士通株式会社	12,775	53.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,455	6.1
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD ACISG (FE-AC)	654	2.7
MLI FOR CLIENT GENERAL NON TREATY - P B	633	2.6
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	602	2.5
日本スタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	447	1.9
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	370	1.5
BNY FOR GCM CLIENT ACCOUNTS (E) BD	339	1.4
株式会社みずほ銀行	279	1.2
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	236	1.0

（注）出資比率は、自己株式（47,250株）を控除して計算しております。

### ■所有者別出資比率の状況

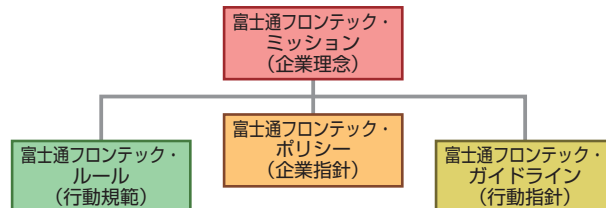


本報告書は、次により記載されております。

1. 百万円単位の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 千株単位の株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

「富士通フロンテック・ウェイ」は、当社グループの存在意義、大切にすべき価値観、社員の日々のビジネス活動における行動の原理原則を示した「基本理念と行動指針」です。

### 富士通フロンテック・ウェイ



#### 富士通フロンテック・ミッション（企業理念）

私たち富士通フロンテックグループは、お客様と社会の期待に応え、お客様と喜びを分かち合うため、ヒューマン・インターフェースに関わる最先端の技術で、ハード・ソフト・サービスによるトータルソリューションをグローバルに提供することを使命とします。

そして、ものづくりにこだわり、品質にこだわり、人づくりにこだわります。

#### 富士通フロンテック・ポリシー（企業指針）

1. 顧客志向の観点で判断・行動
2. 社員が充実して働ける環境づくり
3. 利益を確保して持続的発展につなげる
4. 社会正義・公正ルールの遵守

#### 富士通フロンテック・ルール（行動規範）

- ①公正な商取引を行います
- ②人権を尊重します
- ③法令を遵守します
- ④機密を保持します
- ⑤知的財産を保護します
- ⑥業務上の立場を私的に利用しません

#### 富士通フロンテック・ガイドライン（行動指針）

- ①私たちは、お客様視点で行動します
- ②私たちは、よき企業人・よき社会人として行動します
- ③私たちは、まじめで粘り強い努力を惜しみません
- ④私たちは、夢を持ち、チャレンジします
- ⑤私たちは、働く仲間を大事にします
- ⑥私たちは、地球環境を守ります

- 商 号 富士通フロンテック株式会社  
FUJITSU FRONTECH LIMITED
- 設 立 昭和15年11月9日
- 資 本 金 8,457,500,000円
- 従 業 員 数 連結:3,450名 単独:1,645名
- 会 計 監 査 人 新日本有限責任監査法人
- 取締役および監査役

代表取締役社長	下 島 文 明	常 勤 監 査 役 (社外監査役)	堀 野 靖 人
取 締 役	松 森 邦 彦	監 査 役 (社外監査役)	鈴 木 能 之
取 締 役	今 村 洋	監 査 役 (社外監査役)	鈴 木 洋 二
取 締 役	石 岡 達 也		
取 締 役	吉 田 直 樹		
取 締 役 (社外取締役)	川 上 博 矛		

### ■ 当社グループの主要な事業所

本 店	東京都稲城市矢野口1776番地
工 場	東京工場、新潟工場 FUJITSU DIE-TECH CORPORATION OF THE PHILIPPINES (フィリピン工場) Fujitsu Frontech North America, Inc.(北米工場)
営 業 拠 点	営業本部、汐留事務所、大森事務所、東北支店 中部支店、西日本支社、九州支店 富士通先端科技(上海)有限公司(中国拠点) Fujitsu Frontech North America, Inc.(北米拠点)
事 業 拠 点 (ソリューション サービス)	大宮ソリューションセンター 熊谷サービスソリューションセンター 大阪ソリューションセンター 株式会社富士通フロンテックシステムズ(前橋市)

### ■ 主要な子会社

会 社 名	所 在
FUJITSU DIE-TECH CORPORATION OF THE PHILIPPINES	フィリピン共和国
富士通先端科技(上海)有限公司	中華人民共和国
Fujitsu Frontech North America, Inc.	アメリカ合衆国
株式会社ライフクリエイト	東京都稲城市
株式会社富士通フロンテックシステムズ	群馬県前橋市
トータリゼータエンジニアリング株式会社	東京都品川区

- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の  
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで
- 基 準 日 定時株主総会関係  
3月31日  
配当金受領株主確定日  
3月31日および中間配当金の支払  
を行うときは9月30日
- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第2部
- 公 告 方 法 電子公告の方法により行います。た  
だし、電子公告によることができない事  
故その他のやむを得ない事由が生じた  
場合には、日本経済新聞に掲載して行  
います。  
公告掲載URL  
[http://www.fujitsu.com/jp/group/  
frontech/about/ir/kk/](http://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/about/ir/kk/)

ホームページ

<http://www.fujitsu.com/jp/frontech/>



## 富士通フロンテック株式会社

〒206-8555 東京都稲城市矢野口1776番地

